

平成31年度土幌町予算審査特別委員会

平成31年3月12日

1 審査付託事件

- 認定第16号 平成31年度土幌町一般会計予算
認定第17号 平成31年度土幌町国民健康保険事業特別会計予算
認定第18号 平成31年度土幌町後期高齢者医療事業特別会計予算
認定第19号 平成31年度土幌町介護保険事業特別会計予算
認定第20号 平成31年度土幌町介護サービス事業特別会計予算
認定第21号 平成31年度土幌町簡易水道事業特別会計予算
認定第22号 平成31年度土幌町公共下水道事業特別会計予算
認定第23号 平成31年度土幌町国民健康保険病院事業会計予算

2 出席委員（11名）

細井 文次	和田 鶴三	秋間 紘一	河口 和吉	清水 秀雄	飯島 勝
出村 寛	森本 真隆	大西 米明	加藤 宏一	中村 貢	

3 欠席委員（0名）

4 説明のため出席した者

町長	小林 康雄	教育長	堀江 博文
代表監査委員	佐藤 宣光		

5 町長の委任を受けて出席した者

副町長	柴田 敏之	保健医療福祉センター長	山中 雅弘
総務企画課長	瀬口 豊子	地方創生担当課長	石垣 好典
会計管理者	三島 重浩	町民課長	辻 亨
保健福祉課長	高木 康弘	産業振興主幹	西野 孝典
建設課長	増田 優治	道路維持担当課長	佐藤 英明
建設課技術長	田中 敏博	子ども課長	金森 秀文
特老施設長	佐藤 慶岩	病院事務長	土屋 仁志
消防課長	土屋 政勝		

ほか、関係職員

6 教育委員会教育長の委任を受けて出席した者

参事	玉堀 泰正	教育課長	藤村 延
給食センター所長	齋藤 英雄	高校事務長	上野 清子

ほか、関係職員

7 農業委員会会長の委任を受けて出席した者

事務局長 角田 淳二

ほか、関係職員

8 職務のため出席した議会事務局職員

事務局長 矢野 秀樹 総務係長 宇佐見 和重

9 会議録

会 議 の 経 過

(午前 1 1 時 3 5 分)

矢野議会 事務局長	ただいまから予算審査特別委員会の構成を行います。 予算審査特別委員会の構成に当たり、委員会条例第 8 条の規定に基づき、清水秀雄委員に臨時委員長をお願いいたします。
清水臨時 委 員 長	清水委員、委員長席にお着きください。 臨時委員長の職務を行います。 ただいまから予算審査特別委員会を開会します。 直ちに本日の会議を開きます。 これより委員長選挙を行います。 お諮りします。委員長選挙は、臨時委員長による指名推選にしたい と思います。ご異議ありませんか。 (異 議 な し)
清水臨時 委 員 長	異議なしと認めます。 したがって、委員長選挙は臨時委員長が指名することに決定しまし た。 委員長に細井文次委員を指名します。 お諮りします。ただいま臨時委員長が指名しました細井文次委員を 予算審査特別委員会委員長の当選人と定めることにご異議ありません か。 (異 議 な し)
清水臨時 委 員 長	異議なしと認めます。 したがって、ただいま指名しました細井文次委員が予算審査特別委 員会委員長に当選されました。 以上をもって委員長と交代します。 暫時休憩します。
	午前 1 1 時 3 6 分 休憩 午前 1 1 時 3 8 分 再開
細 井	休憩前に引き続き委員会を開きます。

説 明	委 員 長	これより副委員長選挙を行います。 お諮りします。副委員長選挙は、委員長による指名推選にしたいと思います。ご異議ありませんか。 (異 議 な し)
	細 井 委 員 長	異議なしと認めます。 したがって、副委員長選挙は委員長が指名することに決定しました。副委員長に加藤宏一委員を指名します。 お諮りします。ただいま委員長が指名しました加藤宏一委員を予算審査特別委員会副委員長の当選人と定めることにご異議ありませんか。 (異 議 な し)
	細 井 委 員 長	異議なしと認めます。 したがって、ただいま指名しました加藤宏一委員が予算審査特別委員会副委員長に当選されました。 ただいまから予算審査特別委員会を行います。 本委員会の運営について特段のご協力をお願いいたします。 審査の方法は、理事者からの総括説明の後、各課より説明を受け、質疑の後、会計ごとに討論、採決を行いたいと思います。これにご異議ありませんか。 (異 議 な し)
	細 井 委 員 長	異議なしと認めます。 したがって、審査の方法は各課より説明を受け、質疑の後、会計ごとに討論、採決することに決定しました。 なお、説明員の交代につきましては、その都度休息を宣言して行いますので、あらかじめご了承願います。 平成31年度士幌町一般会計予算を議題とします。 理事者の総括説明を求めます。副町長、登壇願います。
	柴 田 副 町 長	それでは、平成31年度予算の総括説明をさせていただきます。平成31年度予算説明資料により説明をさせていただきます。 まず、1ページ目でございますけれども、平成31年度当初予算全会計の総括表となっております。一般会計から病院事業会計まで記載しておりますが、一般会計では71億1,700万円で、対前年度比2,700万円、0.4%減の予算となりました。 国保会計は、病院会計の施設整備に係る繰出金の影響もあることから、前年度より5.2%増の10億8,884万円の予算となったところであります。 後期高齢者会計では3.1%増の1億61万1,000円、介護保険会計では2.5%増の7億2,840万9,000円、介護サービス会計では4.1%増の5億5,072万1,000円となりました。 簡易水道会計では、道営営農用水事業が平成30年度から31年度への

繰り越し事業分が1億3,000万円程度になるため、平成31年度予算としては減少することとなり、前年度比で34.2%減の2億5,573万8,000円となりました。

下水道会計におきましては、老朽化による施設の更新を3年計画で実施しており、本年が2年目となります。本年度は施設の主要な機械設備の工事となることから、54.8%増の9億6,897万円となりました。

病院事業会計におきましては、1日平均入院、外来患者数が微増とし、出張医の回数増や燃料費などの高騰などにより収益的支出では前年度比5.4%増の9億5,841万1,000円となり、一般会計からの繰入金金は3億5,000万円としたところでございます。資本的支出では、老朽化に伴う給排水衛生設備の更新やエックス線テレビ装置の更新、電子カルテシステムの導入などにより、前年度比9%増の2億2,510万円となりました。

全会計の総額は119億9,380万円、率で3%の微増の予算となったところであります。

2ページ目は、平成31年度一般会計の歳入歳出別の対比表であります。円グラフの外側が31年度分でありまして、前年度との比較となっております。上段のグラフが歳入でございまして、一般財源では町税の伸び等で微増となっておりますが、前年度とほぼ同様となっております。なお、一般財源の項目で中ほどに自動車取得税交付金、環境性能割交付金と記載をされておりますけれども、本年度消費税率の改定が予定されており、消費税が上がったタイミングで自動車取得税が廃止になり、かわりに環境性能割が課税されることとなるために、この環境性能割交付金を新たに設けたところでございます。軽自動車税につきましても同様に環境性能割が課税され、交付金として入りますが、こちらは軽自動車税の中で新たな目を設けております。下段のグラフが歳出でありまして、歳入と同様、前年度と大きくは変わってございません。

3ページ目は、歳入歳出の款別の対比表であります。左側が歳入であり、町民税の伸びにより町税のウエートが0.8%ほど伸びとなっております。ほか、国、道補助金などが減少にあり、それに伴い町債の割合も減少しているものであります。右側の歳出では、前年度当初予算に計上しなかった基幹作物輪作維持支援事業を当初から計上したことや農道整備事業などの伸びなどにより農林業費のウエートが1.2%の上昇、学校改修費や昨年度は災害復旧費にありましたパークゴルフ場の整備工事を本年度は教育費に当初から予算化したために教育費のウエートが1.1%上がったところでございます。公債費につきましても若干ウエートは上がってございます。

次に、4ページ、5ページをお開きください。性質別の歳出予算額調べであります。ほぼ前年度同様でございますけれども、普通建設事

業の補助事業分の減少により普通建設事業費も下がっております。災害復旧事業費につきましては、前年度当初において補助金の関係上パークゴルフ場整備を災害復旧事業としておりました。本年度はこの災害分がなくなったことにより、災害復旧工事費が皆減となりました。公債費は、前年度と同様微増であります。

6 ページ、7 ページは、節別の歳出予算額調べでございます。報酬につきましては、統一選挙及び参議院選挙に係る増であります。報償費は、ふるさと寄附の報償を寄附金の3割以内としたことによるものでございます。旅費の減少要因につきましては、商工労働費にありました地方創生交付金が終了したことによるものでございます。需用費のうち食糧費の増につきましては、選挙に係るものでございます。賄い材料費につきましては、給食に係るもので、食材の単価は上がってはいますけれども、児童生徒数の減により7.6%の減となっているものでございます。役務費では、主に重度心身障害者医療費請求事務手数料や乳幼児等医療費請求事務取扱手数料の減によるもので、4.5%の減となっております。委託料では、新たな農畜産物加工施設の指定管理に係る委託料、土地改良事業や土木費における事業用調査設計委託料などにより前年度比で9.2%の増となったところでございます。使用料、賃借料では、地域おこし協力隊員が減ることにより住宅借り上げ料の減や地図情報に係る画像データの賃借料や小学校数の減に伴う複写機等の借り上げ料などの減で6.2%の減となります。工事請負費につきましては、教育費において学校施設整備工事はふえるものの、道路新設改良に係る交付金事業及び地方道路工事が大きく減少となることにより15.3%の減となります。公有財産購入費では、農畜産物加工研修施設の国有地部分の土地購入に係るもので、96.9%の増となったところでございます。備品購入費の増加要因につきましては、コンピューターのOSでありますウィンドウズ7のサポートが終了することにより、新たなコンピューター約90台の更新に係るものでございます。投資及び出資金では、国保病院の医療機器整備に係る出資金が前年度に比べ減額となったところでございます。

次に、8 ページの性質別歳出予算財源内訳でございますけれども、国、道支出金が減少しております。

次、9 ページ、10 ページでございますけれども、ここは建設事業費に関するものであります。まず、1 の補助事業でありますけれども、社会資本総合整備交付金事業として、継続事業で防雪柵を含めると4路線、橋梁長寿命化修繕は4橋と年次的に行う点検として41橋を見込んでおります。また、公営住宅建替事業として若葉団地の公営住宅建てかえ2棟8戸の建設を見たところでございます。これにつきましては、資料の15ページに位置図及び平面図を載せてございますので、後ほどでもごらんいただきたいと思います。このほか、小学校の施設整

		備改修工事としまして土幌小学校のエレベーター及び障がい児用トイレの改修工事を予定をしております、補助事業の合計額は6億312万1,000円となりましたが、前年度より7,400万円ほど減少となっております。 次に、単独工事分といたしまして、庁舎のタイル及び前庭の補修に460万円、農畜産物加工研修施設外構工事に460万円、車両センター車庫増設事業に800万円、町道整備事業では土幌幹線が継続事業として、新規事業としては下居辺北21号線の橋梁洗掘対策、舗装の長寿命化修繕事業で5,000万円、総合グラウンドパークゴルフ場整備事業に4,700万円といたしまして、単独事業の合計は対前年比1,380万円増の5億5,452万8,000円となりました。昨年度ありました道営事業のワッカ美加登線開設事業につきましては、平成30年度の繰り越し事業として実施されるため、本年度分の事業はございません。道営土地改良事業では、畑総4地区、特別農道1地区に1億6,880万円であります。 11ページの国費、道費による各種事業導入調べは、記載のとおりでございます。 12ページでは、町有林の管理事業位置図でございます。 13ページは土地改良事業の施工箇所、14ページは土木事業の施工箇所でございます。 そのほかについては、説明いたしましたので、省略をさせていただきますと思います。 以上で平成31年度一般会計予算の概要の説明とさせていただきます。 ここで13時15分まで昼食の休息をとります。 午前 11時52分 休憩 午後 1時15分 再開 細井委員長 それでは、委員会を再開いたします。 細井委員長 審議に当たりましてお願いを申し上げます。質疑に当たっては、会議規則等に基づき、議題外にわたらないように、かつ簡潔に質疑されるようお願いをいたします。また、質疑は1人1問とし、さらに質問があれば他の委員の質疑が終わってから許すことといたします。関連で質問される場合は、第1の質問者の質疑が終わってからされるようお願いをいたします。質疑の際は、マイクボタンを押し、予算書のページ数を明示の上、簡潔明瞭をお願いをいたします。 これより議事に入りますが、説明に当たり、新規事業については詳細な説明をお願いいたします。 最初に、議会費、総務費の説明を求めます。議会事務局長。 矢野議会 33ページ、議会費につきまして議会事務局、矢野よりご説明申し上げ
--	--	---

説明

事務局長	げます。 1 款 1 項 1 目議会費の予算総額は8,110万2,000円で、対前年度比62万4,000円の増額となっております。主な要因は、2 節給料から 4 節共済費のうち職員人件費分で 1 万5,000円の増、議員分では 3 節、議員手当で12万9,000円の増、4 節の議員共済組合負担金では標準掛率引き下げに伴い37万4,000円の減となっております。9 節旅費では48万3,000円の増、14節使用料及び賃借料の自動車借り上げ料等で27万円の増となっています。これは、改選に伴う道内研修によるものです。34ページをお開きください。19節負担金補助及び交付金は、十勝町村議会議長会負担金の増額で 7 万4,000円の増となっております。その他の節につきましては、おおむね前年同様の予算を計上したところです。
細 井 委 員 長 瀬口総務 企画課長	以上で説明を終わります。 総務企画課長。 総務企画課長、瀬口よりご説明申し上げます。 2 款 1 項 1 目一般管理費は、予算額 4 億2,815万円、前年度対比1,819万3,000円の減額で、その主な要因は、2 節給料から 4 節共済費までの人件費では 3 節で一般職手当及び退職手当組合の率の変更ほかで768万6,000円を減額、7 節賃金は臨時職員、地域おこし協力隊員 1 名の減ほか、臨時職員の職種変更を合わせまして398万7,000円を減額、36ページ、13節委託料は昨年 9 月に補正をいたしました会計年度任用職員の制度支援業務委託料を今回は当初に計上するもので、減額としましてはマイナンバー制度に対応した例規整備支援業務の終了ほかで、差し引きまして202万7,000円を減額、15節工事請負費は庁舎玄関前のタイル張りかえ464万4,000円で、前年度対比535万6,000円を減額、これにつきましては30、31年度の 2 年に分けて実施をしているものでございます。特定財源として、職員給与費負担金、太陽光発電施設貸付料ほか、記載のとおり充当しております。 37ページ、2 目文書広報費は予算額531万9,000円、前年度対比 2 万7,000円の増額で、ほぼ前年と同様で、特定財源として自衛官募集事務委託金を充当。 3 目財産管理費、予算額5,224万4,000円、前年度対比1,327万8,000円の増額で、その主な内容といたしまして、11節、修繕料は廃校した 3 校の教住 6 戸分を定住促進に向けた住宅改修をする経費の増、差し引きまして198万円を増額、13節委託料は町有売却用地測量終了ほかで96万2,000円を減額、17節、土地購入費は農産物加工施設駐車場にございます国有地の購入費783万6,000円を新たに計上したことによるものです。38ページ、18節備品購入費は、消火器の更新の減及び特養の特殊車両 1 台を新たに購入する額を差し引いた413万2,000円の増額

細 井
委 員 長
西野産業
振 興 課
主 幹

などによるものです。特定財源といたしまして、土地、建物使用料及び貸付料、太陽光発電施設貸付料ほか、記載のとおり充当しています。

以上で説明を終わります。

産業振興課長。

産業振興課長にかわり、産業振興課主幹、西野から説明いたします。

38ページの4目町有林管理費については、前年度比903万7,000円減の3,186万7,000円を計上したところです。減額の主な要因は、人事異動に伴う人件費の減と森林地理情報システム委託業務が完了したことによるものであります。2節から4節までは、職員2人分の人件費であります。主な支出ですが、13節委託料では町有林管理事業の委託料など410万5,000円減の計238万円、15節工事請負費では造林、下草刈り、間伐、保育間伐事業に186万4,000円減の計1,376万5,000円、16節原材料費では造林用のカラマツなどの苗木72万8,000円を計上したところであります。100年の森づくり事業につきましては、平成25年度から進めているもので、林道ワッカクネネップ線沿いの町有林約14haにおいて5月末に第6回町民植樹祭及び32年度の準備地ごしえを行う経費として11節で食糧費1万5,000円、12節で火災保険料2,000円、13節で100年の森整備委託料として70万2,000円、14節で簡易トイレ借上料8万7,000円、16節、造林用苗木72万8,000円のうちダケカンバ苗木7万7,000円など、合計88万3,000円を計上したところであります。それぞれの事業箇所、事業面積につきましては、予算説明資料12ページの平成31年度町有林管理事業位置図を参照いただきたいと思います。特定財源としましては、町有林造林事業補助金451万9,000円、立木売払収入266万円、間伐材売払収入60万6,000円であります。

以上で説明を終わります。

細 井
委 員 長
瀬口総務
企画課長

総務企画課長。

39ページ、5目公平委員会費は、前年度と同額の15万4,000円を計上。

6目企画費は6,355万円、前年度対比1,559万9,000円の減額で、その主な要因といたしまして、8節、ふるさと寄附報償1,200万円の減額は総務省の指導によりふるさと納税制度の返礼割合を見直したことによるものでございます。40ページ、13節委託料は113万円の増額で、新たに地域情報通信改善調査費を計上したもので、内容は川西地区高速無線インターネット通信速度改善のための調査費100万円、昨年10月に補正計上したふるさと納税寄附受け付け、さとふるの委託料を当初計上するもので、240万円の増額、減額につきましてはまちづくり講演会の委託料200万円が減となったことによるものです。14節使用料及び賃借料は地域おこし協力隊員の減に伴う自動車、住宅借り上げ

	料などで188万4,000円を減額、15節工事請負費は農園付き住宅外構工事及び地デジ無線システム対策工事合わせて620万円を減額しております。19節負担金補助は、41ページで旧小学校施設等利活用推進補助金500万円、これにつきましては小学校閉校に伴う施設利活用者に対する施設改修費等の助成であり、新たに計上したものでございます。減額につきましては、住宅太陽光の発電導入事業200万円、これは10年間の助成期間が経過したことにより助成を廃止するものでございます。そのほか、土幌チセフレップ40周年の記念事業費10万円も減額しております。これ以外につきましては、ほぼ前年と同様となっております。特定財源として、移住体験住宅貸付料ほか、記載のとおり充当しています。 7目環境対策費は430万6,000円で、前年度対比1,000円の増額で、特定財源として太陽光発電施設貸付料を充当しております。 以上で説明を終わります。 町民課長。 41ページ下段、8目生活安全推進費について町民課長、辻から説明をいたします。 本年度予算総額は367万4,000円で、前年度対比18万4,000円の減額であります。その主な内容としまして、9節旅費で交通安全指導員の費用弁償のうち、今年度研修会が十勝で開催のため、14万円を減額しております。11節需用費では、消耗品、公用車の燃料、修繕費等を合わせて3万6,000円の減額であります。42ページに移りまして、13節委託料で交通安全対策標示等設置委託料を本年度しないことで6万円を減額をしております。14節使用料及び賃借料につきましては、車借り上げ料を交通安全指導員の研修用として計上しておりましたが、今年度十勝開催のため、11万9,000円全額を減額しております。19節負担金補助及び交付金は、消費生活相談広域化負担金の道の補助金等が減額になったことで町村の負担金がふえており、17万1,000円増額をしております。その他の負担金については、ほぼ前年と同額となっております。41ページに戻りまして、特定財源としまして消費者行政活性化事業交付金12万4,000円を充当しております。 以上で説明を終わります。
細井委員長 辻町民課長	総務企画課長。 総務企画課長、瀬口よりご説明申し上げます。 42ページの9目情報管理費は6,891万9,000円で、前年度対比1,890万円を増額するもので、その主な要因といたしまして、13節、プログラム変更委託料は住基情報システム用の端末機、ウィンドウズ10対応に改修及び母子保健の番号制度改正健康カルテシステムの改修、合わ

せまして265万4,000円、情報システム整備委託料はメールサーバー保守期限切れによるサーバー、ルーターの更新、行政専用ネットワークL G W A Nサーバーの交換など合わせまして589万4,000円ほかを増額、18節の備品購入費はソフト更新できないパソコン及びマイナンバーの環境にあるパソコンをウィンドウズ7のサポートの終了に伴い、入れかえをするもので、あとプリンターも更新するということで821万4,000円を増額、43ページ、19節、地方公共団体情報システム機構負担金はマイナンバー等の提供に係る機器設置関連事務費で、システムの移行設計、構築経費分221万8,000円を増額するものでございます。特定財源として、国の社会保障・税番号制度システム整備費の補助金161万6,000円を充当いたします。

10目地域生活交通確保対策事業費は1,825万1,000円で、前年度対比290万3,000円の増額、19節、十勝バス、拓殖バスへの地域生活交通路線維持補助金は人材確保対策及び燃料費の高騰などで80万円を増額、高齢者移動支援実証事業は新たに200万円を計上するもので、内容は農村部から中士幌市街に居住する75歳以上の運転免許証を有していない高齢者に自宅から士幌市街地までのタクシー代金、4往復分の2分の1を助成しようとするものでございます。特定財源として、国鉄士幌線基金利子収入及び同基金繰入金、愛のまち建設基金繰入金を充当します。

11目協働推進事業費は予算額1,421万5,000円で、前年度対比70万円の減額は、実績に基づき8節のリサイクル推進事業費20万円と19節、パートナーシップ事業助成金50万円をそれぞれ見直したことによるものです。特定財源として、愛のまち建設基金繰入金ほか、記載のとおり充当しています。

12目諸費は予算額848万3,000円で、前年度対比168万3,000円の減額で、44ページ、13節で新たに防災行政無線整備に向け、設置方法や維持管理経費等を調査比較するための経費として250万円を計上、20節、災害救助用物資は新たに発電機、給水用貯水タンク、段ボールベッドなどの購入費106万4,000円を増額、減額では防災ガイドマップの作成委託料及びコミセンのW i - F i 整備を合わせた518万6,000円を減額とし、これ以外の予算については前年度とほぼ同様となっているところでございます。なお、防災のガイドマップにつきましては、今週末の広報紙発送日に全戸に配布を予定しているところでございます。

13目財政調整基金費は35万2,000円で、前年度対比8万9,000円の減額で、利息分を基金に積み立て、特定財源として同基金利子収入を全額充当。

45ページ、14目愛のまち建設基金費は予算額6,017万8,000円で、前年度対比1,001万9,000円の増額で、指定寄附金などを基金に積み立て、特定財源として同基金利子収入及び指定寄附金を全額充当。

細 井
委 員 長
石 垣
地方創生
担当課長

15目飯島賞贈呈基金費は、予算額5万円で、表彰者への記念品を購入するもので、特定財源として同基金利子収入及び繰入金を全額充当。

16目減債基金費は、予算額58万1,000円、前年度対比2万3,000円の減額で、利息分を基金に積み立てるもので、特定財源は基金利子収入全額を充当するものでございます。

以上で説明を終わります。

地方創生担当課長。

17目地方創生推進事業費について地方創生担当課長、石垣からご説明いたします。

30年度の予算額は255万円で、前年度対比107万円の減額計上であります。12節役務費及び14節使用料及び賃借料は、昨年度に引き続き北海道と連携して実施する移住交流促進事業に係る経費をそれぞれ計上したところであります。19節、十勝・イノベーション推進事業負担金につきましても、昨年度に引き続き帯広市と管内町村の広域連携事業として実施する地域の創業支援や起業支援に取り組むものであります。移住支援事業助成金につきましては、国が今年度から実施するわくわく地方生活実現政策パッケージ事業として、東京23区内の居住者等が町内の事業所等に就職し、転入した場合に助成金を交付するもので、1組分、100万円を計上したところであります。特定財源につきましても、地方創生推進交付金70万円、移住支援事業交付金75万円を充当しております。

以上で説明を終わります。

町民課長。

細 井
委 員 長
辻 町 民
課 長

45ページ下段、2項1目税務総務費について町民課長、辻から説明をいたします。

本年度予算総額は4,877万1,000円で、前年度対比1,098万7,000円の減額であります。その主な要因は、2節給料から4節共済費の人件費で人事異動、また人員の減、給与改定によるもので1,148万9,000円の減額となっております。7節で賃金改定で45万3,000円の増額、9節旅費で2,000円、11節需用費で4万7,000円の増額となりました。その他の節につきましては、おおむね前年と同額を計上しております。45ページに移りまして、特定財源につきましては土地精通者謝金2万円を充当しております。

次に、46ページ、2目賦課徴収費ですが、本年度の予算総額は1,215万5,000円で、前年対比496万1,000円の増となっております。その主な内容は、13節委託料で前年より507万8,000円の増額で、内訳としましては評価がえのために平成31年度に実施します路線価格の鑑定評価事業委託料で346万5,000円を増額、当初納付書コンビニ対応業務委託

	料で133万1,000円の増額、地方税共通納税システム対応委託料で86万4,000円の増額が主な要因となります。47ページに移りまして、14節使用料及び賃借料では、本年度地籍調査航空写真の更新によるデジタルオルソ画像賃借料がありませんので、68万2,000円を減額しております。その他の節につきましては、事業実績等を勘案し、前年度とおおむね同額を計上したところであります。46ページに戻りまして、特定財源につきましては自動車臨時運行許可申請手数料3万円を充当しております。 続きまして、47ページ中段、3項1目戸籍住民基本台帳費は、本年度予算総額が1,905万9,000円で、前年対比4万9,000円の増額でございます。主な要因としましては、2節給料から4節共済費までの人件費に係る職員の人事異動、給与の改定によるもので11万7,000円の増、11節需用費、13節委託料、48ページに移りまして14節使用料及び賃借料まで、多少の増減がありますが、前年度とほぼ同額の計上をしております。47ページに戻りまして、特定財源としまして住民票、戸籍等の諸証明手数料254万円、それから個人番号カード等関連事業補助金、中長期在留者居住地届出等事務委託料、権限移譲交付金、人口動態調査事務委託料などを合わせて85万4,000円を充当しております。 以上で説明を終わります。 選挙管理委員会事務局長。
細井委員長 瀬口選挙管理委員会事務局長	選挙管理委員会事務局長、瀬口よりご説明申し上げます。 48ページ、4項1目選挙管理委員会費は予算額489万6,000円、前年度対比1万5,000円の増額で、1節報酬から19節負担金補助及び交付金まで、ほぼ前年同様となっているところでございます。 2目参議院議員通常選挙費は、本年7月に予定されています必要経費の選挙費用で、予算総額で642万6,000円を計上するもので、特定財源として同選挙委託金を全額充当しております。 49ページ、3目知事道議会議員選挙費は、予算額461万2,000円、前年度対比33万円の減額で、これにつきましては30、31年度の2年に分けて予算を計上しているものでございます。4月7日投開票の実施に向けまして、現在準備を進めているところでございます。特定財源として、同選挙委託金を全額充当しております。 50ページ、4目町議会議員選挙費は、本年4月21日に実施するもので、その必要経費総額で605万4,000円を計上しております。 以上で説明を終わります。
細井委員長 瀬口総務企画課長	総務企画課長。 総務企画課長、瀬口よりご説明申し上げます。 51ページ、5項1目統計調査総務費は705万5,000円で、前年度対比

細 井 委 員 長 矢野監査 委 員 会 事務局長	248万3,000円の増額です。本年は、5年に1度実施されます経済、農 林業センサスに係る報酬208万円の増のほか、必要な経費を増額計上 しているもので、特定財源として同センサス委託金ほか合わせまして 267万3,000円を充当するものでございます。 以上で説明を終わります。 監査委員会事務局長。 51ページ、監査委員費につきまして監査事務局長、矢野よりご説明 申し上げます。 2款6項1目監査委員費の予算総額は232万2,000円で、対前年度比 21万5,000円の増額となっております。主な要因は、9節旅費で20万9, 000円の増額、これは監査委員の全国町村監査委員研修によるもので ございます。52ページをお開きください。19節負担金補助及び交付金 は、全国町村監査委員研修時の負担金として6,000円を増額計上して おります。その他の節につきましては、おおむね前年同様の予算を計 上したところでございます。
細 井 委 員 長	以上で説明を終わります。 以上で議会費、総務費の説明が終わりました。 なお、質疑につきましては明日行います。 明日の予算審査特別委員会は、10時より再開をいたします。 本日は、これにて散会いたします。 お疲れさまでした。

(午後 1時40分)